

中央環境審議会自然環境部会 自然公園等小委員会（第36回）

国立公園事業の決定・廃止・変更案件
に関する説明資料

（当日説明なし）

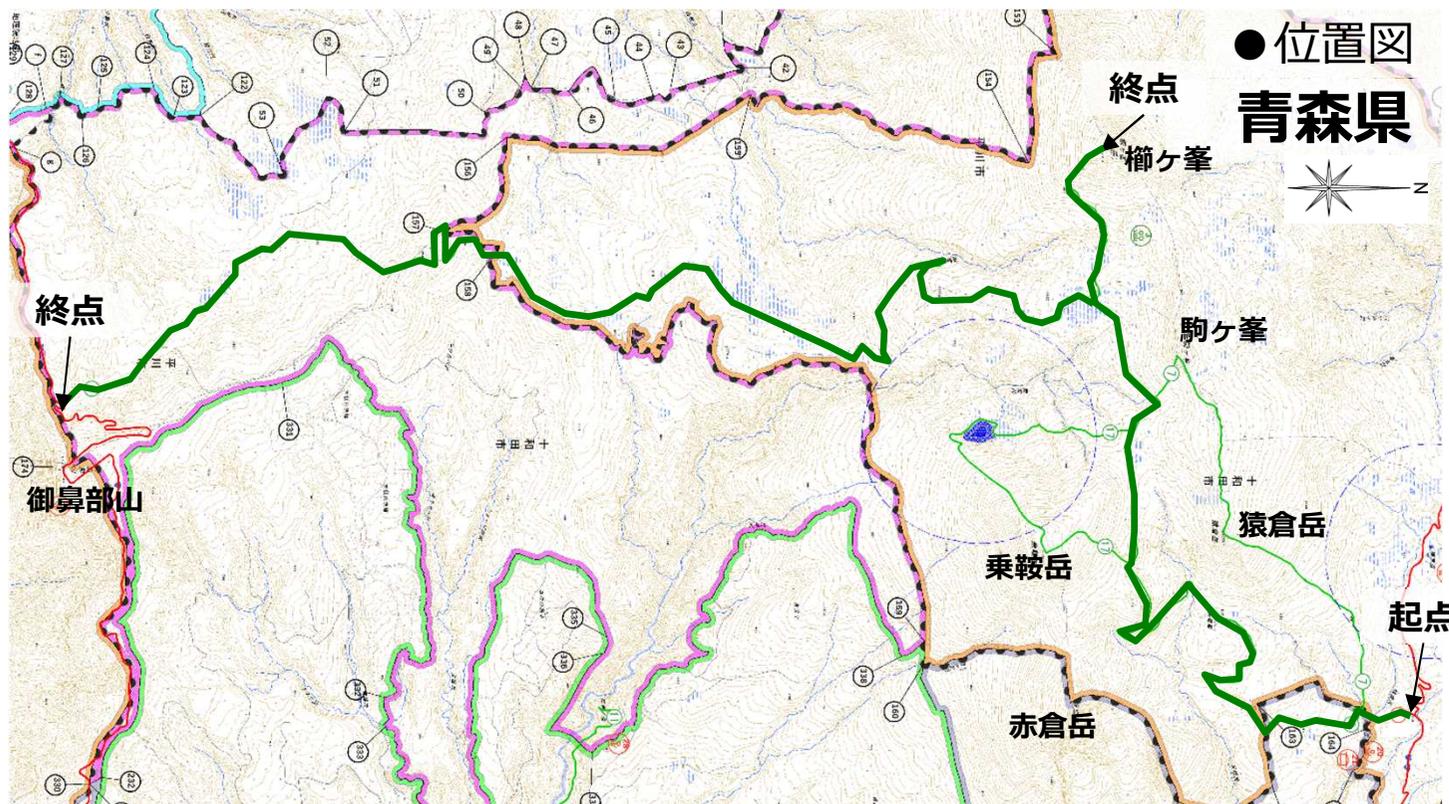
変更

十和田八幡平国立公園
南八甲田縦走線道路（歩道）

路線距離：27.0km→12.0km

執行者（予定者）：環境省、青森県

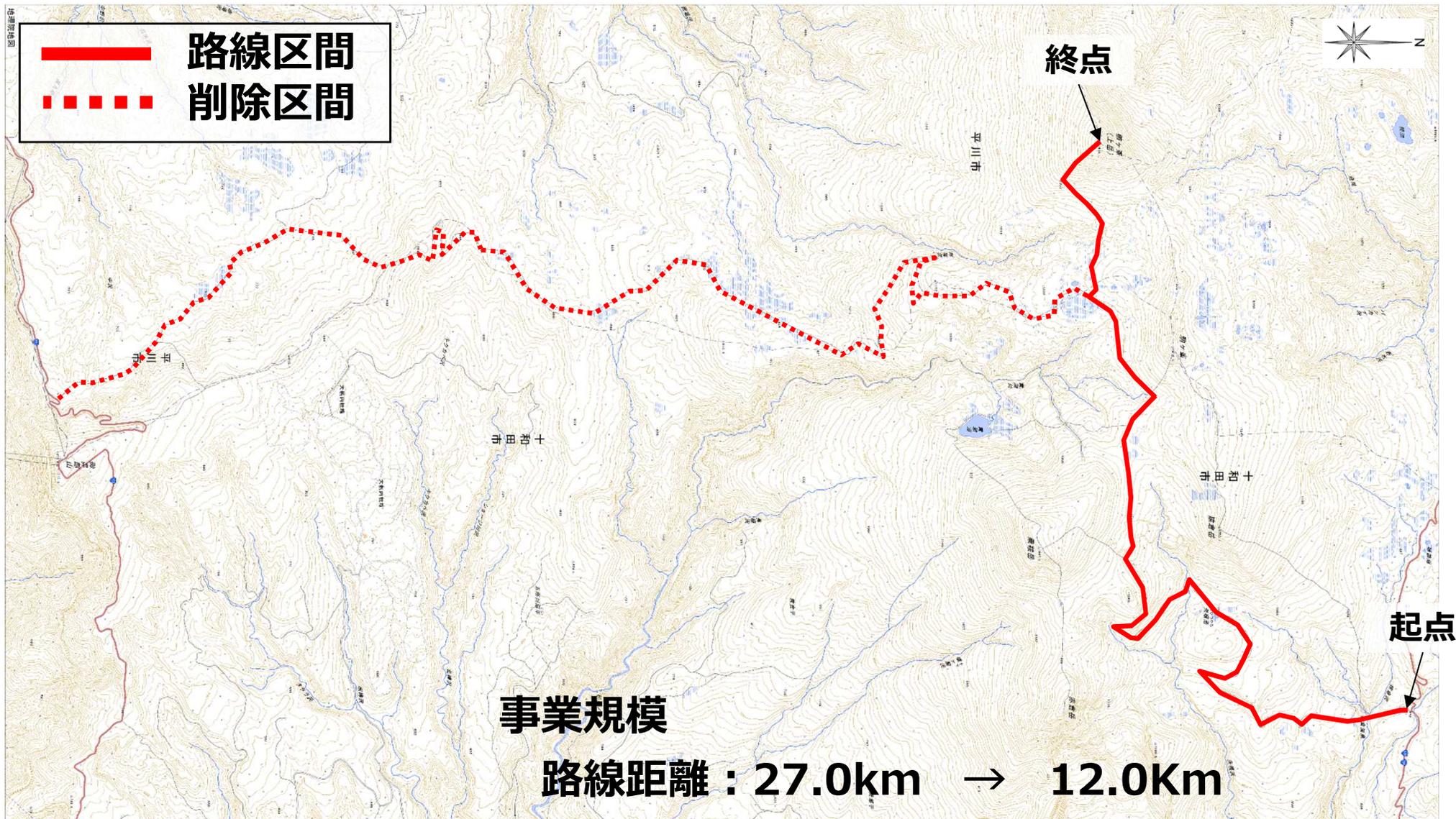
特別保護地区、第1種特別地域（国有林）



南八甲田連峰



○南八甲田地区は、十和田八幡平国立公園の中でも特に自然性に富んだ植物相とともに、原始性の高い山岳景観を保持している。当該登山道は、青森県十和田市猿倉温泉から青森県平川市櫛ヶ峯及び御鼻部山に至る歩道で、北八甲田連峰や南八甲田連峰を眺めながら手つかずの自然が楽しめる。



- 公園計画の点検に伴う整理。
- 南八甲田登山道の管理方針（平成29年3月3日策定）において、利用者数が著しく少ないことから、登山道として管理しない方針としている区間について削除する。

公園計画の点検に伴う整理

執行予定者：環境省、青森県

- 南八甲田登山道の管理方針（平成29年3月3日策定）に基づき、櫛ヶ峰入口～尾鼻部山区間を削除する。



自然環境への影響

- 猿倉温泉～櫛ヶ峯の区間は、青森県において南八甲田登山道管理連絡会の協力のもと、適切に維持管理することで登山道沿線の植生の保護が図られるとともに登山者の利用に供する。
- 削除する区間については現状のまま自然に回復させる。



南八甲田登山道の管理方針について（参考）

- 路線区間については、南八甲田の原始性、静寂性を、登山者の自己責任で体験する登山道として、極力自然の状態を維持した管理を行う。
- 登山道の管理は環境省が主体となるが、関係行政機関、自然保護団体、山岳会等の関係機関で構成される「南八甲田登山道管理連絡会」が協働で管理する。

三陸復興国立公園 女川・雄勝線道路（車道）

決定

路線距離：11.0km

有効幅員：9.0m

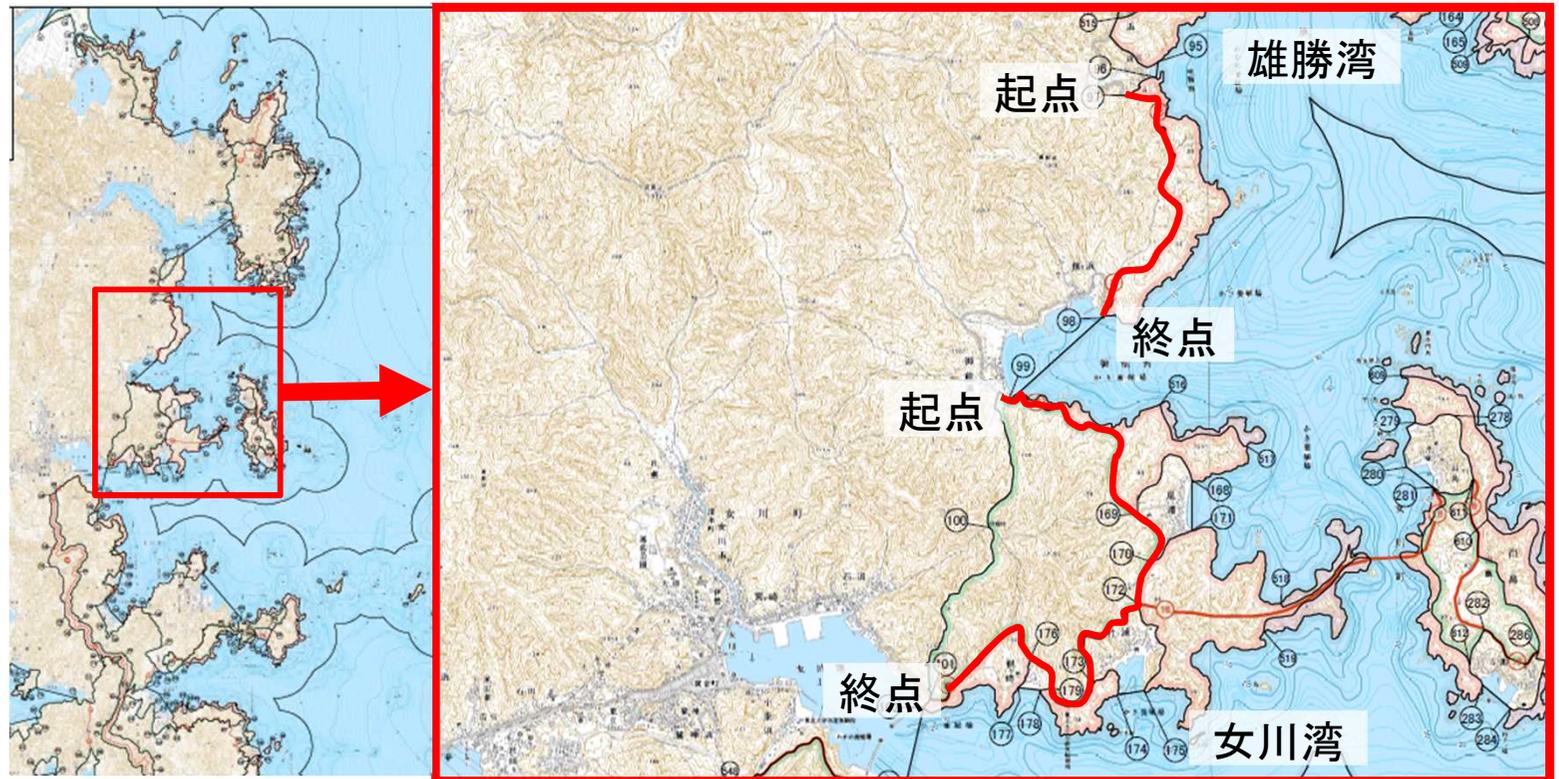
執行予定：宮城県

第2種特別地域、第3種特別地域（公有地）

○三陸復興国立公園
拡張（平成27年3
月）の際に新たに利
用計画に追加された
本車道は、石巻市雄
勝町～女川町をつな
ぐ主要道路として宮
城県が維持管理を
行っている。

○雄勝湾～女川湾に
かけての優れた海岸
景観が続く。

○雄勝市街地と女川
市街地をつなぐ生活
道路を兼ねる。



既存施設（車道）の事業決定

- 石巻市雄勝町と女川町をつなぐ生活路兼景観鑑賞路として宮城県により整備されている2区間を事業決定する。
- 既に整備されている施設を把握するものであり、新たな工事等を行わないため、周囲の自然環境に与える影響はない。

路線距離：11.0km

有効幅員：9.0m、執行予定：宮城県



北端起点付近



南端終点付近



女川湾



雄勝湾方面遠景

三陸復興国立公園 牡鹿半島西海岸線道路（車道）

決定

路線距離：6.0km

有効幅員：9.0m

執行予定：宮城県

第3種特別地域、普通地域（公有地）

天然広葉樹林、杉植林

- 三陸復興国立公園拡張（平成27年3月）の際に新たに利用計画に追加された本車道は、公園牡鹿半島西海岸を通過し、同南端に到る既存県道として宮城県が維持管理を行っている。
- 牡鹿半島西海岸を南北に貫く景観鑑賞路兼生活道路。
- 網地島、田代島、仙台平野の遠望等、優れた眺望が続く。
- 石巻市街地から鮎川浜（集団施設地区）に至る。



既存施設（車道）の事業決定

- 牡鹿半島南端への到達路兼景観鑑賞路として宮城県により整備されている牡鹿半島西岸の3区間を事業決定する。
- 既に整備されている施設を把握するものであり、新たな工事等を行わないため、周囲の自然環境に与える影響はない。

路線距離：6.0km

有効幅員：9.0m

執行予定：宮城県



南端起点付近



北端終点付近



網地島及び田代島



田代島方面遠景

三陸復興国立公園 牡鹿半島東海岸線道路（車道）

決定

路線距離：36.0km

有効幅員：9.0m

執行予定：宮城県

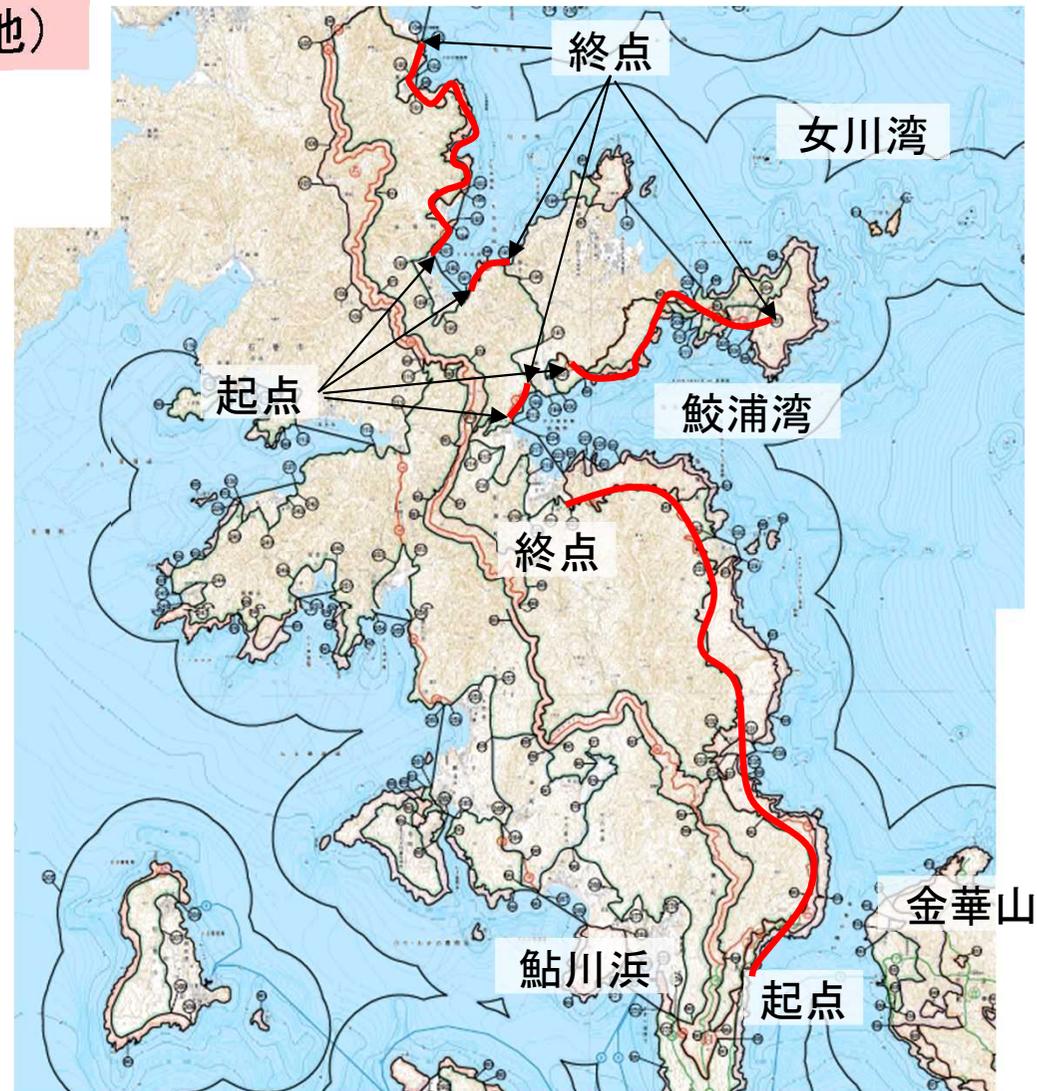
天然広葉樹林、杉植林

第2種特別地域、第3種特別地域（公有地）

○三陸復興国立公園拡張（平成27年3月31日告示）の際に新たに利用計画に追加された本車道は、公園牡鹿半島東海岸を通過し、同南端に到る既存県道として宮城県が維持管理を行っている。

○牡鹿半島東海岸を、いくつかの集落を貫いて進む生活道路兼景観鑑賞路。

○連続する海食崖や砂浜を楽しめる。



既存施設（車道）の事業決定

● 牡鹿半島南端への到達路兼景観鑑賞路として宮城県により整備されている牡鹿半島東岸、南端の国立公園境界から同北端までの4区間を事業決定する。



車窓から望む女川湾



半島南端起点付近



鮫浦湾北岸



木の間隠れの女川湾

路線距離：36.0km

有効幅員：9.0m

執行予定：宮城県

三陸復興国立公園 牡鹿半島公園線道路（車道）

決定

路線距離：34.0km

有効幅員：9.0m

執行予定：宮城県

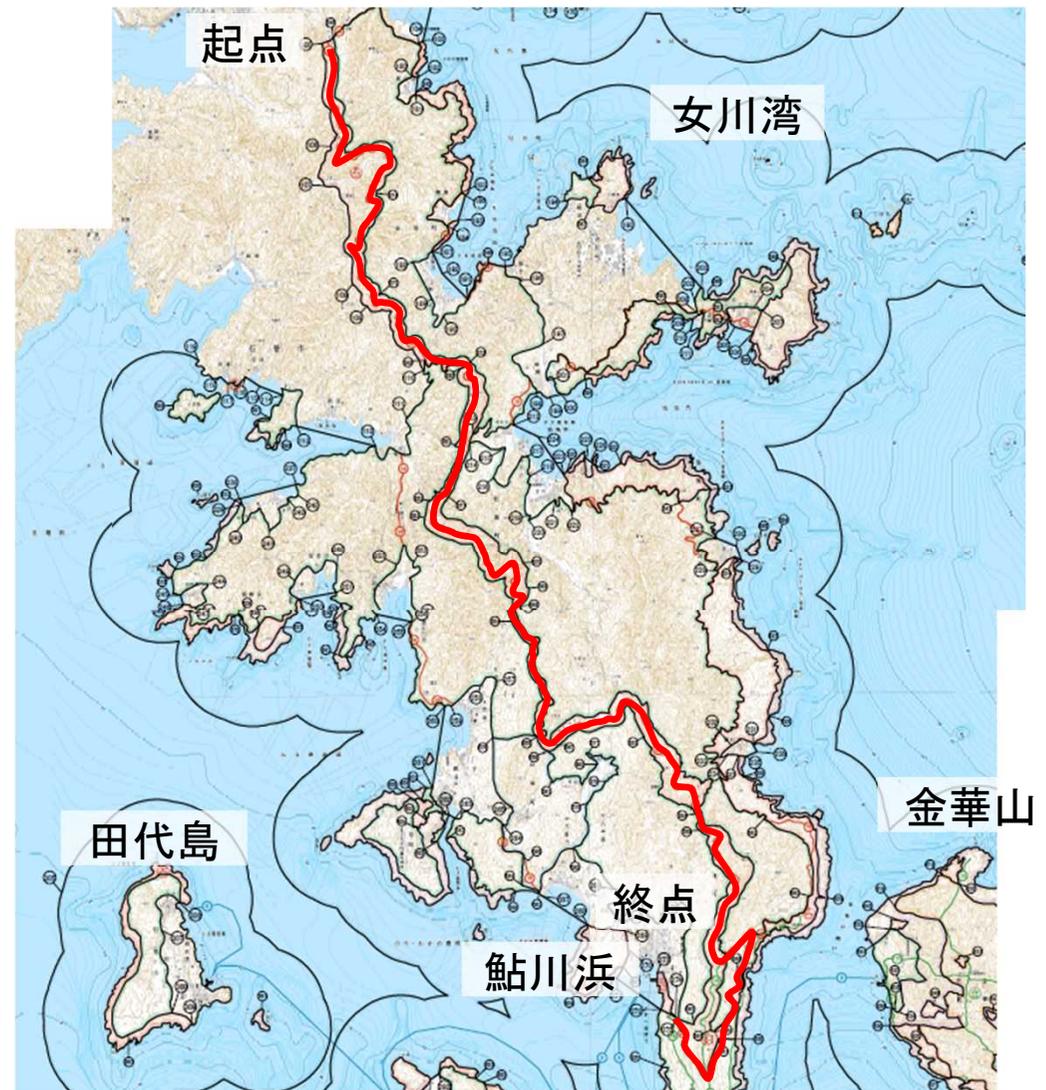
第2種特別地域（公有地）

○三陸復興国立公園拡張（平成27年3月31日告示）の際に新たに利用計画に追加された本車道は、公園牡鹿半島北端の国立公園境界から同南端までの既存県道として宮城県が維持管理を行っている。

○女川湾、金華山、田代島等、優れた眺望が続く。

○鮎川浜集団施設地区に至る。

天然広葉樹林、杉植林



既存施設の把握（車道）

- 牡鹿半島南端への到達路兼景観鑑賞路として宮城県により整備されている牡鹿半島北端の国立公園境界から同南端までの既存県道を事業決定する。
- 既に整備されている施設を把握するものであり、新たな工事等を行わないため、周囲の自然環境に与える影響はない。

路線距離：34.0km

有効幅員：9.0m

執行予定：宮城県



起点付近



終点付近



車道上から、女川湾方面遠景



田代島方面遠景

三陸復興国立公園 志津川・北上線道路 (車道)

決定

路線距離：14.0km

有効幅員：11.0m

執行予定：宮城県

天然広葉樹林、杉植林

第2種特別地域、第3種特別地域(公有地)

○三陸復興国立公園拡張（平成27年3月31日告示）の際に新たに利用計画に追加された本車道は、南三陸町と石巻市をつなぐ主要道路として宮城県が維持管理を行っている。

○南三陸町内ではラムサール指定湿地登録見込みの志津川湾にそっており、同湾の優れた海岸景観が続く。

○南三陸町市街地と石巻市をつなぐ生活道路を兼ねる。

○全線が長距離自然歩道『みちのく潮風トレイル』（一部予定）である。



路線距離：14.0km

有効幅員：11.0m

執行予定：宮城県

既存施設 (車道) の事業決定

- 南三陸町と石巻市をつなぐ生活路兼景観鑑賞路として宮城県により整備されている南三陸町～石巻市北上町の9区間を事業決定する。
- 既に整備されている施設を把握するものであり、新たな工事等を行わないため、周囲の自然環境に与える影響はない。



神割崎キャンプ場付近



南端終点付近



南三陸・海のビジターセンター入り口付近



志津川湾

三陸復興国立公園 龍舞崎園地

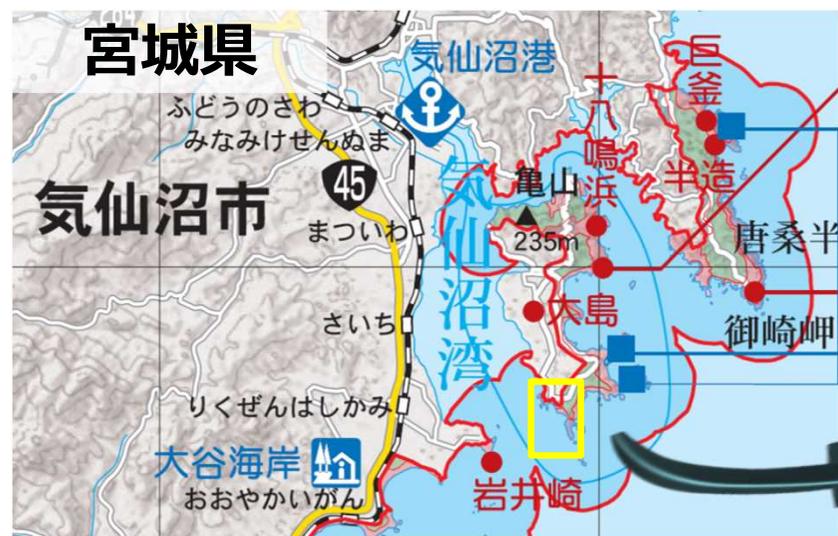
変更

区域面積：3.3ha→3.6ha

執行者（予定者）：気仙沼市

第1・2・3種特別地域（気仙沼市有地、私有地）

●位置図



●計画図



龍舞崎海食崖景観



龍舞崎灯台

○本園地は、三陸復興国立公園の主要利用拠点の1つである気仙沼大島の南端に位置している。

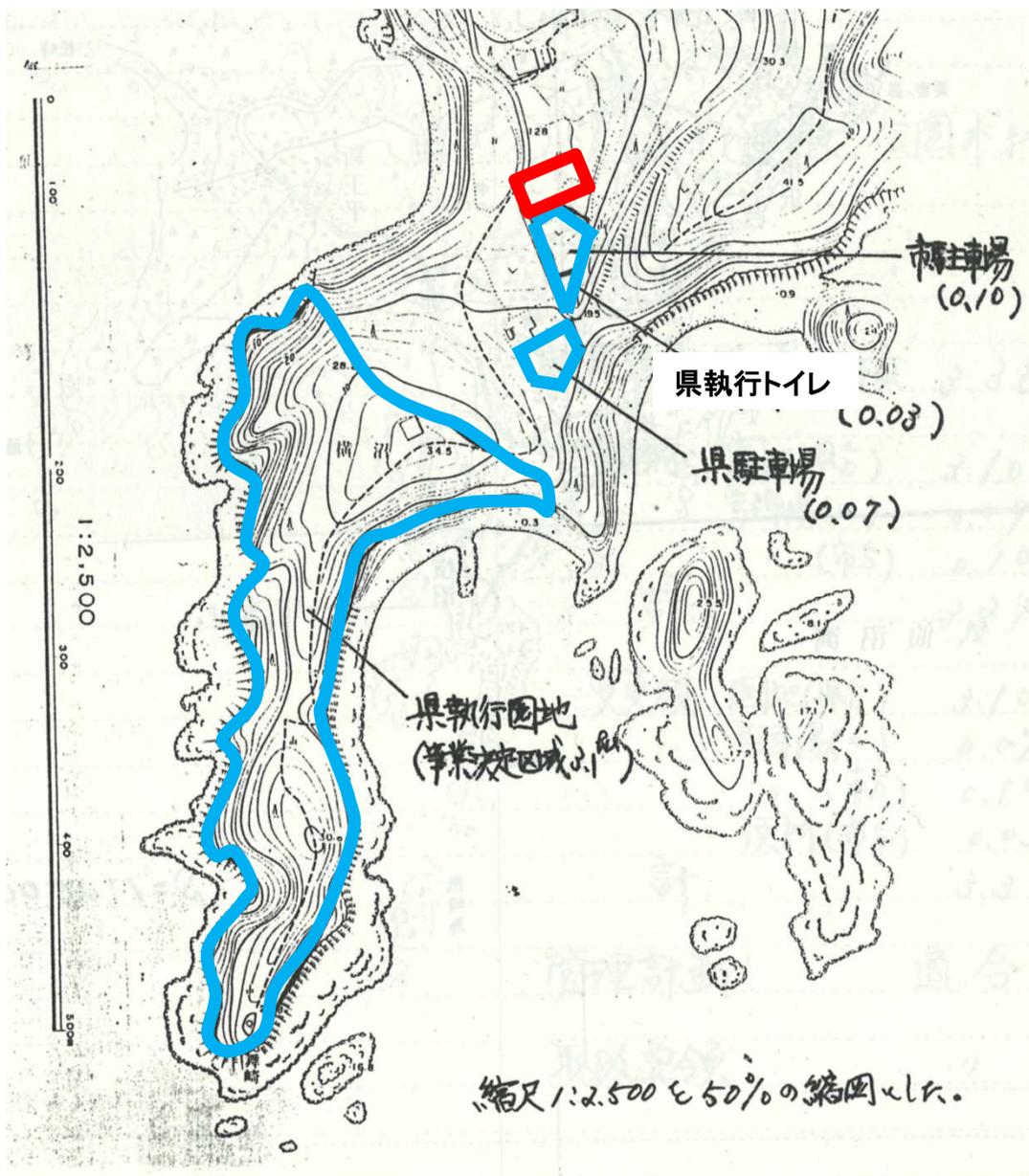
○気仙沼大島の主な利用形態は、景勝地の周遊、海水浴・シーカヤック等のマリンレジャー、島内のトレッキング、釣り等である。特に夏期のマリンレジャーの人気の高い。

○本園地は、手軽に優れた景観を楽しむことができることから、年齢を問わず来島者の多くが訪れる場所となっている。

— 今回拡張
— 変更前（現行区域）

事業規模

区域面積：3.3ha → 3.6ha



- 気仙沼大島は現在来島手段がカーフェリーに限られている。
- 平成31年4月より本土と島を繋ぐ橋が供用開始予定であり、自家用車や大型バスで来島する利用者が増加することが見込まれる。
- 現状では、車両で多くの利用者が訪れることを想定した施設整備がされておらず、快適な利用のために駐車場の拡充が急務となっている。
- 本園地においては、新たに普通車70台分程度の駐車場を整備するため、区域面積を0.3ha拡張する。

大島大橋開通に伴う駐車場の新規整備

- 平成31年4月（予定）の大島大橋開通に備え、島内の主要利用拠点周辺において気仙沼市が駐車場の拡充を進めている。



自然環境への影響

- 新規整備予定地は、現在工事用の資材置き場となっており、駐車場整備に伴う土地の形状変更や支障木伐採は必要なく、自然環境や風致へ与える支障は小さい。



三陸復興国立公園 小田ノ浜水泳場

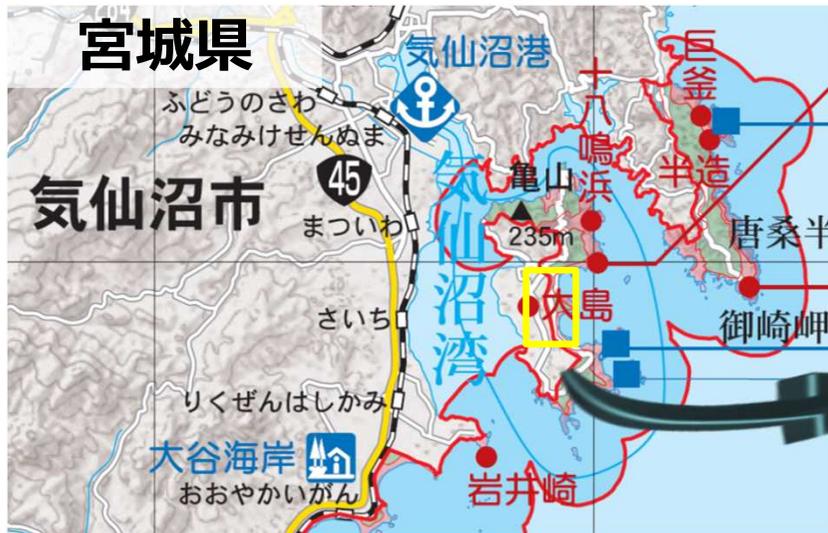
変更

区域面積：0.2ha→0.4ha

執行者（予定者）：気仙沼市

第3種特別地域（気仙沼市有地、私有地）

●位置図



●計画図

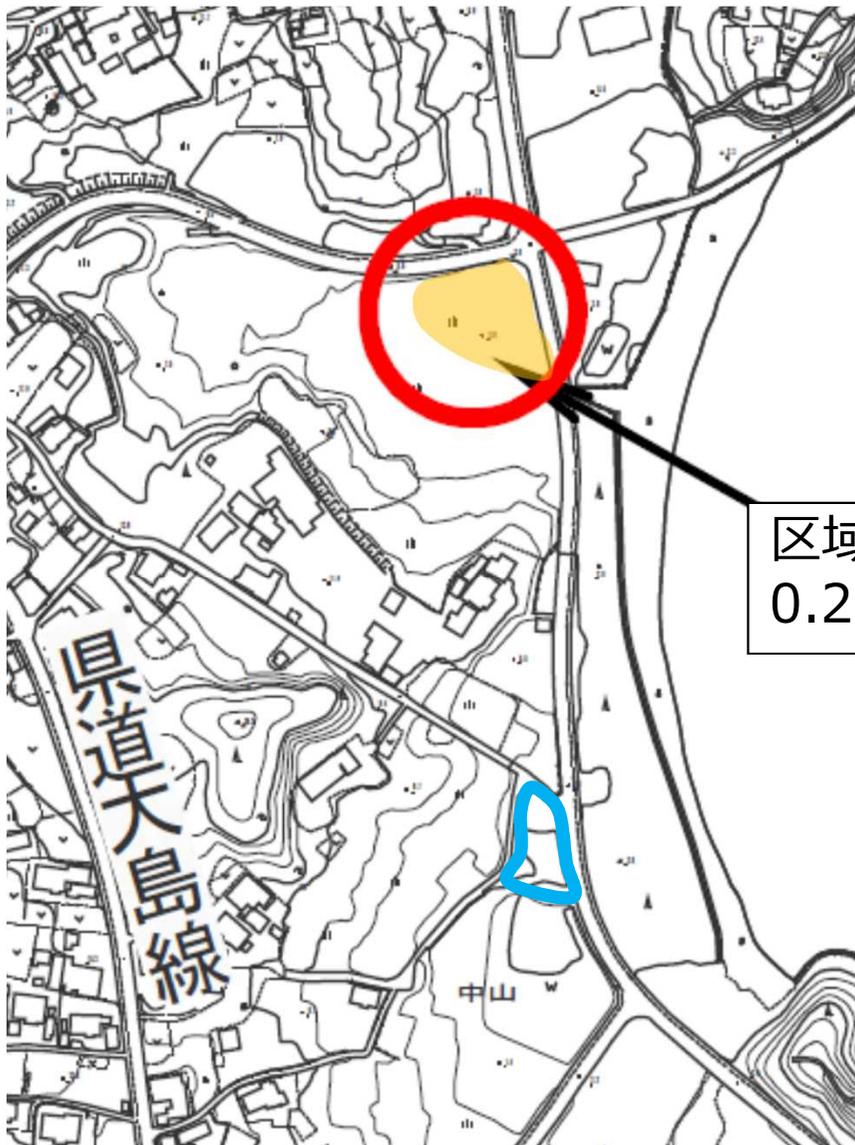


- 本園地は、三陸復興国立公園の主要利用拠点の1つである気仙沼大島の東側に位置している。
- 気仙沼大島の主な利用形態は、景勝地の周遊、海水浴・シーカヤック等のマリレジャー、島内のトレッキング、釣り等である。特に夏期のマリレジャーの人気の高い。
- 本水泳場は、環境省の選定する「快水浴場百選」にも選ばれており、7月～8月にかけて多くの利用者が訪れ、本地域の利用の中心と捉えられている。

— 今回拡張
— 変更前（現行区域）

事業規模

区域面積：0.2ha → 0.4ha



○気仙沼大島は現在来島手段がカーフェリーに限られている。

○平成31年4月より本土と島とを繋ぐ橋が供用開始予定であり、自家用車や大型バスで来島する利用者が増加することが見込まれる。

○現状では、車両で多くの利用者が訪れることを想定した施設整備がされておらず、快適な利用のために駐車場の拡充が急務となっている。

○本水泳場においては、新たに普通車47台、大型バス2台分の駐車場を整備するため、区域面積を0.2ha拡張する。

大島大橋開通に伴う駐車場の新規整備

- 平成31年4月（予定）の大島大橋開通に備え、島内の主要利用拠点周辺において気仙沼市が駐車場の拡充を進めている。



自然環境への影響

- 新規整備予定地は現在使用されていない農地（平地）となっており、駐車場整備に伴う土地の形状変更は最小限であり、樹木伐採は生じないため、自然環境や風致へ与える支障は小さい



上信越高原国立公園 五味池御飯岳線道路（歩道）

決定

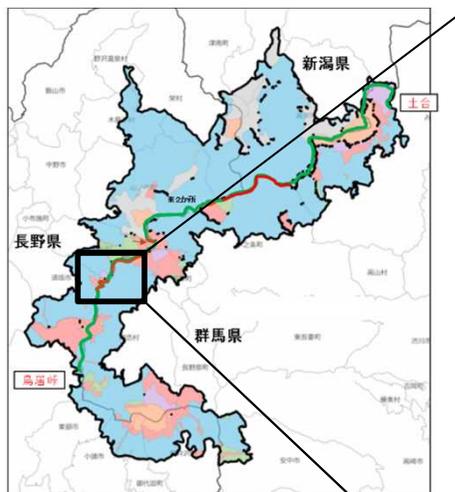
路線距離：5.6km

執行予定者：長野県須坂市
群馬県嬭恋村

第1種特別地域、第2種特別地域、普通地域（国有林、民有林）

●位置図

●公園計画図



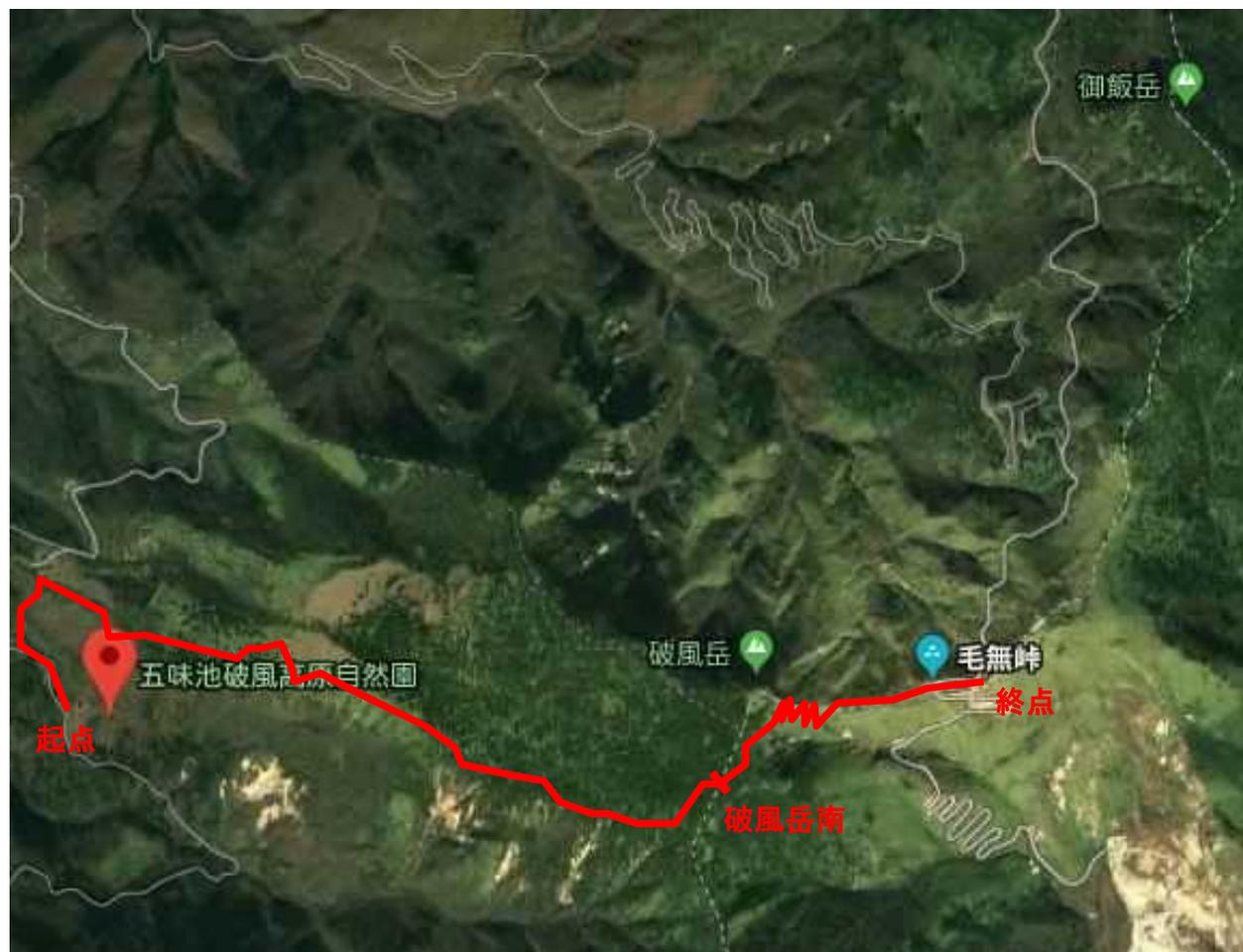
毛無峠から破風岳



大池のレンゲツツジ群落

- 大池から破風岳、毛無峠を経て、御飯岳に至る路線である。
- 本路線の主な利用形態は登山である。また、五味池破風高原には長野県内有数の規模のレンゲツツジ群落があり、花期を中心に利用される。

五味池御飯岳線道路（歩道）決定路線図



事業規模

路線距離：5.6km



毛無峠



起点から破風岳の区間

- 五味池御飯岳線道路（歩道）の一部区間を決定するもの。
- 起点から破風岳南の県境まで須坂市が事業執行予定。
破風岳南の県境から毛無峠までは、ぐんま県境稜線トレイルの一部区間として位置付けられ、嬬恋村が事業執行予定。